

平成30年7月15日(日)・16日(月・祝)・17日(火)

祇園石段下から四条烏丸

参加各流派・ご担当先生

みしゅうりゅうなかやまぶんぽかい		
① 末生流中山文甫会 五十棲尚甫 (いそずみ ひさほ)	TEL.075-921-8756	
末生流二〇〇年の歴史がある「格花」や、現代生活に合った多様な花型の「新花」があります。好きな花や、葉・枝・器をどう選ぶかで、個性が表現されます。常に「新しいことに挑戦する精神」を持った流派です。		
みしゅうりゅう		
② 末生流 北尾登志甫 (きたお としほ)	TEL.075-311-1476	
末生流は末生斎一甫によって、1800年のはじめに創流されました。いけばなの本質は社会や生活環境が変化しても変わらないものです。流名「末生」が示すように無限の可能性を秘めて日々清新なものを生むよう努力しています。流祖はいけばなを通して人としての有るべき姿を論されています。		
こうしゅうりゅう		
③ 甲州流 宮本花抱 (みやもと かほう)	TEL.0774-72-0918	
大和郡山四代藩主柳澤甲斐守保免山公の考案による。明治35年旧柳澤藩士野村静吾が、聴松庵拈華一基として創流。現在五世家元に至る。流名は柳澤ゆかりの甲斐の地にちなむ。「格花」[投げ入れ]を基本に、「自由花」「盛花」にも取り組んでいます。		
はしかわみしゅうりゅう		
④ 細川末生流 岡本陽甫 (おかもと ようほ)	TEL.075-231-0701	
創流は文化・天保年間に遡るが、口伝として伝承続けた精神・技法を、細川末生流として一九世紀末に発表。今日に至るまで生花を基本に投げ入れ・盛花更に現代文化にマッチした、いけ花を目指し研鑽を続けています。		
さざごりゅう		
⑤ 嵯峨御流 垣花悦甫 (かきはな えつほ)	TEL.072-851-2527	
平安時代、嵯峨天皇が大覚寺大沢池の菊が島で手折られた菊を挿花され、「後世花を生くものもは宜しく之を以て範とすべし」と仰せになられたことが源となり、創流1200年を迎え、嵯峨天皇の自然といのちを愛する大御心を伝えている大覚寺に華道総司所をおく流派です。		
しょうげつどうりゅう		
⑥ 松月堂古流 植松賞月 (うえまつ しょうげつ)	TEL.075-721-0515	
松月堂古流のいけばなは、自然を厳しく観察することにより植物本来のあるべき姿を探究することにより美しく表現するよう心がけています。生花・現代花・流麗花など様々なスタイルでいけばなのお伝えする努力をしています。		
とうざんみしゅうりゅう		
⑦ 東山末生流 今枝靖甫 (いまえだ やすほ)	TEL.075-462-7493	
西陣の地にある慧光山総本山本隆寺三〇世日東上人を流祖と仰ぎその中から取った「東」に「山」から東山末生流と称し江戸時代後期創流。末生流の流れをくみ華道を通じた人格形成と精神鍛錬を掲げ正花盛投入意匠花等古典を軸に現代いけばなをも探求している。		
こうりゅうしょうとうかい	[京都]TEL.075-431-4601 [亀岡]TEL.0771-25-6663	
⑧ 辻古流松蔭会 今井理榮 (いまい りえい)		
古流は江戸時代中期に創立。古典の洗練された形と現代いけばなの自由表現法を指導。1966年社団法人となり東京本部全国各地、海外支部組織をもって活動している。		
つきのわみしゅうりゅう		
⑨ 月輪末生流 平林朋宗 (ひらばやし ともそう)	TEL.075-531-7676	
昭和初期の創流。東山の月輪山にある皇室の菩提所、泉涌寺靈明殿への献花に始まり、古典花をはじめ、現代感覚の盛花、投げ入れ花、自由花などがあり、品性あふれる、優雅な精神に基づいたいけばなを追求する。		
かどうほんのうじ		
⑩ 華道本駐寺 中野恭心 (なかの きょうしん)	TEL.075-571-2838	
立華創成期の立華の名手であった大住院以信を流祖と仰ぐ。古典を尊重しつつ、コンテンポラリーな作風を求める。いけばなの中に自分の個性を見つけ出し、生けられた花は自分を映し出す鏡となる。		
らくようみしゅうりゅう		
⑪ 洛陽末生流 山中 樹 (やまなか みき)	TEL.075-882-5694	
明治36年創流。昭和末期より花形を理論的に系統化、平成以降は新たな視覚表現による現代花や小品花等、私たちの今生きる、その「時」人の「心」を大切に、いけばなを追求しています。		
きょうふうりゅう		
⑫ いけばな京楓流 小嶋京楓 (こじま きょうふう)	TEL.075-231-6623	
花祖は禁裏御所御用の折・楓を掛けて後龜山天皇より京楓と号を賜わり現家元が1975年に流派として確立し、古典から現代花まで今様いけばなのあり方を追求しています。音楽に合わせて挿けるいけばなパフォーマンスは現家元が元祖であります。URL http://www.kyoufuu.com/		
かどうひょうげんは		
⑬ 華道表現派 小山幸容 (こやま ゆきよ)	TEL.075-622-5985	
大正末期に創流。花そのものの個性を自由に生かし、型にとらわれない芸術活動としてのいけばなを提唱している。古典的ないけばなの姿と技術を伝承しながら、新しいいけばなに取り組んでいる。		
くわはらせんけいりゅう		
⑭ 桑原専慶流 桑原仙溪 (くわはら せんけい)	TEL.075-221-2950	
野に咲く花のあるがままの美しさを器にうつしとりたいたいという気持ちから桑原専慶流のいけばなが生まれました。三百数十年の歴史の中で、理知的な気風に品格がそなわり、花の姿を優雅に表現します。		
くさかべりゅう		
⑮ 日下部流 日下部一如 (くさかべ いちにょ)	TEL.075-341-0046	
1966年創流。型にとらわれず、自然の枝振りに応じて自由に生けられる「真華」を創始した。人間が本来持っている感性を生かす花、老若男女を問わず、いつでも、どこでも、誰でもが自由に楽しめる花を目指す。		
えんしゅう		
⑯ 遠州 芦田一春 (あしだ いっしゅん)	TEL.077-575-4488	
小堀遠州を流祖とし、1812(文化9)年初世貞松庵一馬が「衣の香」口伝抄を刊行、流を確立、発展させた。現代に伝わる伝統流派の一つであり、その美しい曲線美は日本のいけばなの代表的なものです。		
せんけいりゅう		
⑰ 専慶流 西阪専慶 (にししか せんけい)	TEL.075-611-0814	
江戸元禄期、京都で流祖雷春軒仙溪によって専慶流は創始される。伝承された清楚で端正なかたちに、絶えず豊かな創造と感性を求め、新しい和と美の心を通わせたいと専慶流は考えています。		

きょうかんでん		
⑱ いけばな京花傳 手嶋敏和 (てしま としかず)	TEL.075-354-6380	
1997年初代家元手嶋千俊によって創流。僧侶としてまたいけばな作家として六〇有余年の経験を生かし、新境地を見出すため独立。花を通じての情懷を本質とし、伝統を大切に現代に生きるいけばなを目指している。		
おむろりゅう		
⑲ 御室流 川井宏雄 (かわい ひろお)	TEL.075-463-1095	
世界文化遺産仁和寺を創建の第59代宇多天皇を流祖とする流派です。仁和寺は中世には名匠・技芸継達者に称号を授与し、近世その称号をもつ華道家が集い御室流となりました。古典技法と自由ないけ花表現を伝承し、花を通じ豊かな感性の涵養(かんよう)、人格形成をめざしています。		
こまつりゅう		
⑳ 小松流 中村展山 (なかむら てんざん)	TEL.075-464-3877	
昭和初期に流祖竹風斎展山が、京都市にある衣笠山を愛した事から、麓にある小松原に庵を起こし、その地名をとって小松流として創流。自然花材を素材として、伸び伸びと咲く花の姿を優雅に、四季折々に色彩豊かに表現する。		
みしゅうりゅう(あんけ)		
㉑ 末生流(庵家) 寺門実甫 (てらかど じつほ)	TEL.072-624-5922	
流祖末生斎一甫(1761～1824)晩年上田広甫に末生斎の号を譲り、自らは末生庵と名乗り以降末生庵を継承。五代から佐伯家が継ぎ現代は十代佐伯一甫家元。流儀花は伝統ある格花。自然の景色を写した盛花や瓶花等の現代花にも力を注ぐ。		
いっこうりゅう		
㉒ 一光流 梅田和伸 (うめだ かずのぶ)	TEL.0743-59-2063	
四季折々の草・木・花の美を真剣に見つめ、どのような場所に飾っても調和する様、たえず研鑽し続けています。また、その花たちをよく知るために一光流一筆画も提案いたしております。		
こうふうりゅう		
㉓ 香風流 村田香風 (むらた こうふう)	TEL.075-461-6822	
1931(昭和6)年創流。自然体を中心に簡素の美を基調とした、自由で創造性豊かないけばなをめざす。限られた空間に、景色をいけなばで表現する盆景花が流儀花。ほかに盛花・投入花・生花・飾花の花型がある。		
きどうみしゅうりゅう		
㉔ 喜堂末生流 杉崎翠山 (すぎさき すいざん)	TEL.075-711-2255	
自然の法則に基づき植物の生い立ちを学び、末生の清心を受け継ぎ伝統ある花形から現代的な自由花にいたるまでを基本花形に基づき、合法的に生花の心髄を極め美しい調和が生まれ、親しみのある流儀であります。		
みしゅうりゅうさおか		
㉕ 末生流笹岡 笹岡隆甫 (ささおか りゅうほ)	TEL.075-781-8023	
1919年、笹岡竹甫が創流。花の設計図にあたる寸法表を用いた理論的な教授方法により「理論派の華道」。また、かきつばたを流花とすることから「かきつばたの笹岡」とも呼ばれる。 www.kadou.net		
そうげつりゅう		
㉖ 草月流 花崎陽文 (はなざき ようぶん)	TEL.075-313-7880	
草月流は、「いつでも どこでも 何でも活かせる」事を理念にしています。その理念の元に、様々な場面での作品を植物素材を使って展開致します。		
おはらりゅう		
㉗ 小原流 尾崎豊雅 (おざき ほうが)	TEL.075-642-6104	
西洋文明の入って来た明治、彫刻家でもあった初代小原雲心が水盤に花を飾る“盛花”を創案。現五世安貴家元は、瓶花・文人調・琳派調・花舞・花意匠等を追求。現代空間にふさわしいいけばな花奏(はなかなで)を創案。		
いけのぼう		
㉘ 池坊 中路喜久子 (なかじ きくこ)	TEL.075-801-3276	
560年の伝統を誇るいけ花の根源池坊は、45世池坊専永宗匠と池坊専好次期家本によって今に伝えられています。古きを守り時代に即応する「池坊いけばな」は国内はもとより、世界に羽ばたき「心と技」を伝えています。		
きよみずりゅう		
㉙ 清水流 清水谷喜月 (しみずたに きげつ)	TEL.075-461-7795	
1951(昭和26)年、初代家元清水谷照月が創流。西国第二五番霊場兵庫県清水寺の本尊観世音菩薩への信仰を花の形にあらわすため、家庭で誰もが楽しめる、和やかな花をいけることをめざす。現家元は二代清水谷善海。		
ほうふうえんしゅうりゅう		
㉚ 峰風遠洲流 平尾貴峰 (ひらお きほう)	TEL.06-6621-1623	
小堀遠州公の流れを頂き師ゆかりの地近江に大正13年創流。流祖口伝の挿花を基礎とし、古典花から自由花に至る迄「真・善・美」を追求。伝統を重んじつつ時流にあったいけばなに取り組んでいます。		
みやこみしゅうりゅう		
㉛ ㉜ 都末生流 大津光章 (おおつ こうしょう)	TEL.075-761-8166	
知恩院華頂宮の指南役、藤木月亭光信により天保6年京都にて起る。昭和24年各種学校都華道専門学院を設立、「いけばな文化」を中心に「いのち」をキーワードにした、花の文化集団を目指しています。		
とうふくじみしゅうりゅう		
㉝ 東福寺末生流 井田益甫 (いだ ますほ)	TEL.075-572-2882	
京都東山にある東福寺を家元として、京都・大阪・兵庫に支部をおき活動しています。「華禪一味」を流の心としての「古典花」、時代の新風を取り入れた「現代花」を中心にあらゆる表現を探索している流派です。		
きょうとみしゅうりゅう		
㉞ 京都末生流 松本 司 (まつもと とつかさ)	TEL.075-256-1456	
創流130有余年、第四世家元は、若い感性で、花と人の出会いを大切に、受け継がれてきた伝承を現代に生かしつつ「楽しむ花」を信条としています。一人でも多くの人とその楽しさを分かち合いたいと思っています。		

祇園祭の京に、一服のやすらぎ。各流派のいけばな34作品、一堂に集う。

京都では祇園祭に「ひおうぎ 檜扇」を生ける伝統があります。

「檜扇」はアヤメ科の植物で、夏に色鮮やかなオレンジや黄色の花を咲かせます。良質な「檜扇」が京都府北部の宮津市で生産されています。剣状の葉が重なり合って左右に広がっている形状が「扇」に似ていることから「檜扇」の名前があるようです。古代、「檜扇」には害虫を払い五穀豊穡をもたらすといった、災厄を除く故事が見られるようで、いつの頃からか、疫病を鎮めるために始まった祇園祭の時期に「檜扇」を飾る慣習が根付いたと考えられます。現在も京都の町には、この時期「檜扇」が生けられ、軒先を彩っています。このような伝統から、祇園祭のこの時期にいけばな展を開催しています。

いけばな展示店一覧

祇園商店街・北側		
① 洋と和の特撰雑貨 祇園GL		
[営業時間] 10:00～19:00	TEL.075-561-7101	
② 家傳京鈴・茶房 祇園小石		
[営業時間] 10:30～19:00	TEL.075-531-0331	
③ かんざし・椿油 かづら清老舗		
[営業時間] 10:00～19:00	TEL.075-561-0672	
④ 薫香・線香・念珠 豊田愛山堂		
[営業時間] 9:30～18:00	TEL.075-551-2221	
⑤ 化粧小物 よーじや祇園店		
[営業時間] 10:30～20:30(17日は20:00まで)	TEL.075-541-0177	
⑥ 和菓子・茶房 鍵善良房		
[営業時間] 9:00～18:00(茶房は9:30～17:45L.O.)	TEL.075-561-1818	
⑦ 京つけもの 京つけもの大安 祇園店		
[営業時間] 10:30～20:00	TEL.075-531-7758	
⑧ 呉服・細貨 むら田		
[営業時間] 11:00～19:00	TEL.075-551-3456	
⑨ 町家手拭 永楽屋細辻伊兵衛商店 祇園店		
[営業時間] 10:30～22:00	TEL.075-532-1125	
⑩ 和装小物 井澤屋		
[営業時間] 11:00～20:00	TEL.075-525-0130	
⑪ レストラン レストラン菊水		
[営業時間] 10:00～23:00	TEL.075-561-1001	
四条繁栄会・北側		
⑫ 創作園履物 伊と忠		
[営業時間] 10:00～20:00	TEL.075-221-0308	
⑬ 京ごふく 糸り善		
[営業時間] 10:00～19:00	TEL.075-221-1618	
⑭ 京料理 四条 御旅町 田びと		
[営業時間] 11:30～21:00	TEL.075-221-1811	
⑮ 茶道具・漆器 龍善堂		
[営業時間] 10:00～19:00	TEL.075-221-2677	
⑯ 甘栗 林万昌堂		
[営業時間] 10:00～20:00(16日は21:00まで、17日は9:00から)	TEL.075-221-0258	
⑰ 布地販売 ノムラテーラー		
[営業時間] 10:00～19:30	TEL.075-221-4679	
⑱ 京人形 田中彌		
[営業時間] 10:00～22:00(17日は19:00まで)	TEL.075-221-1959	

⑲ 携帯電話 ドコモショップ京都四条通店		
[営業時間] 10:00～20:00	TEL.0120-539-257	
⑳ 百貨店 大丸京都店		
[営業時間] 10:00～20:00	TEL.075-211-8111	
四条繁栄会・南側		
㉑ 信用金庫 京都信用金庫本店①		
[営業時間] 9:00～15:00 ※	TEL.075-211-2111	
㉒ 信用金庫 京都信用金庫本店②		
[営業時間] 9:00～15:00 ※	TEL.075-211-2111	
㉓ 信用金庫 京都中央信用金庫四条支店		
[営業時間] 9:00～15:00 ※	TEL.075-211-6141	
㉔ 百貨店 高島屋京都店		
[営業時間] 10:00～20:00	TEL.075-221-8811	
㉕ 化粧品 池善化粧品店		
[営業時間] 10:00～20:30(17日は12:30から)	TEL.075-351-2972	
㉖ オーダーメイド・衣類再生 新雪		
[営業時間] 10:00～19:00	TEL.075-351-0527	
※ ㉑～㉓ 15、16日は定休日ですが作品はご覧いただけます		
祇園商店街・南側		
㉗ 京履物司 ない藤		
[営業時間] 10:00～18:30	TEL.075-541-7110	
㉘ 京つけもの 西利 風土食品		
[営業時間] 11:00～19:00	TEL.075-531-8181	
㉙ 京つけもの 西利 祇園店		
[営業時間] 10:30～20:00	TEL.075-541-8181	
㉚ ハッ橋・喫茶 本家ハッ橋西尾 祇園店		
[営業時間] 10:30～20:00	TEL.075-531-8284	
㉛ 茶寮 茶寮都路里		
[営業時間] 10:00～22:00	TEL.075-561-2257	
㉜ 宇治茶 祇園辻利		
[営業時間] 10:00～22:00	TEL.075-551-1122	
㉝ 志ば漬の里 土井志ば漬本舗		
[営業時間] 10:00～21:00	TEL.075-525-6116	
㉞ 京菓子 京煎堂 祇園本店		
[営業時間] 10:00～20:00	TEL.075-541-1141	

